

令和3年度			
講習の区分	＜選択必修領域講習＞受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域		講習時間数 6 時間
講習の名称	【選択必修】教育相談の理論と実際		講習形態 講義 (WEB配信)
開設者	長崎大学		定員 100 名
開設日/時間	令和3年9月5日(日) / 8:55~16:30	会場	インターネットに安定して接続できる場所(職場もしくは自宅など)
主な受講対象者	学校種	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼保連携型認定こども園	
	免許職種、教科等	特定しない	
	職務経験等	特定しない	
講習の概要	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)		
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 小川 さやか(保健センター) / kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872			
担当教員(分担担当者等) 内野 成美(人文社会科学域)			
講習のねらい / 講習方法 / 講習到達目標 講習のねらい: 子どもたちの問題行動や不適応行動に関して、臨床心理学的視点からそのメカニズムを分析するとともに、基礎的なカウンセリングの技法を紹介しつつ、教育相談の現場においてそれらの行動にいかに対処してゆくか、具体的対応を考えてゆく。 講習方法: 基本的に講義形式で行う。講義内容に関する演習を行うこともある。 講習到達目標: 1. 児童生徒の問題行動や不適応行動のメカニズムを心理学的に捉える。 2. カウンセリングの基礎的な技法を学ぶ。 3. 自らが直面している事例への対応を考える。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要): 不登校、いじめなど様々な支援を要する児童生徒への対応について、臨床心理学的知見からの講義・演習を行う。講義の中では、受講者それぞれが抱える個々の事例への対応についてのヒントが得られるよう、実際の臨床の現場で用いられているカウンセリングの技法にも触れつつ、教育相談に関する理解を深める。 講習計画・内容:			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~9:00(5分)	内野 成美
	講義1【教育相談の理論と実際①(いじめへの対応含む)】 (休憩20分を含む)	9:00~11:40(160分)	内野 成美
	筆記試験1	11:40~12:20(40分)	内野 成美
	昼休憩	12:20~13:10(50分)	
	講義2【教育相談の理論と実際②(不登校への対応含む)】 (休憩20分を含む)	13:10~15:50(160分)	小川 さやか
	筆記試験2	15:50~16:30(40分)	小川 さやか
キーワード: (教育相談) (カウンセリング) (いじめ) (不登校) (臨床心理学)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書はありません。		
各自で準備するもの	なし		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		